

各常任委員会の動き

総務委員会

◆平成20年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管費目)

問 市税の不納欠損額及びその原因と高額滞納、固定資産税の欠損額等について説明してほしい。

答 全体的には、853件、5,964万5,871円で、前年比75件の増、758万9,843円の減となっている。

高額欠損の主な8事例であるが不動産売買等の会社2件、個人6件について、不動産売買等の会社2件は、いずれも経営不振で所有の不動産も競売され、将来、事業の再開も見込めないことから、固定資産税等を不納欠損した。

また、8件の合計額は3,827万4,272円で不納欠損額の64.2%、滞納者は昭和54年から平成19年までで3,326人、平成20年度現年度分として2,918人となっている。

※本案は収入増額増加、地方交付税削減、同和対策事業の予算化等あり本決算は認定できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定
◆ちちぶ定住自立圏形成協定の締結について

問 この協定について、国の政権交代により継続されるのか。また

水道関係における負担の問題と市民への説明はどうするのか。

答 水道関係は市の負担が大きくならないよう進める。設備投資については、これまでの経過を踏まえ、出来るだけ国や県からの支援を引出す方向で行きたい。また、市民への説明については市報、市ホームページ等を利用し、対話を重視する中で対応していきたい。

問 この構想は、合併のガス抜き事業なのか。また、水道の関係で給水するために秩父市の配水管の大きさを変えた場合、皆野町、長瀬町で負担するのか。

答 合併の考え方とは異なる。水道の関係については、限度額が小さいため負担できないと思う。

○原案のとおり可決
◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

※本案は、憲法改正のため国民投票に要する選挙人名簿作成のための予算化なので賛成できない、との意見が出された。

○挙手多数により可決



別所浄水場

建設委員会

◆平成20年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管費目)

問 住宅使用料の収入未済額が多額な理由は。

答 88人の方の滞納で景気の悪化、母子家庭の増加が原因。納付の指導を行う。

◆平成20年度秩父市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 三峰駐車場使用料の内容は。軽車両が1,975台(39万5千円)、普通車が33,512台(1,675万6千円)、マイクローバスが381台(38万1千円)、大型車が559台(83万8千5百円)、身体障害者の車両が370台(9万2千5百円)であった。

◆平成20年度秩父市水道事業決算の認定について

問 石綿セメント管の布設替えは。今年度の更新計画は、秩父管内4,500m、吉田管内2,430mを行い、秩父市全体の整備済み延長は、66,705mとなり進捗率は52.9%となる。今後の更新計画は、平成32年度までの計画で事業を推進して行く。

○以上4件は、認定
◆市道の路線変更について
◆市道の認定について
◆市道の廃止について

◆秩父市手数料徴収条例の一部を變更する条例

問 長期優良住宅とは。100年間使用できるような構造の住宅で、細かな条件をいくつか満たした住宅である。

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 橋りょう点検業務委託料にある長寿命化修繕計画策定事業費補助金とは。

答 秩父市で管理している道路橋は223橋あり、安全で円滑な交通を確保するため、定期的な点検を行い「超寿命化修繕計画」を策定している。今年度は24橋で平成25年度には策定終了の予定。

問 公園費の「太陽光発電緊急整備工事」とは。

答 別所キッズパーク内の施設に使用する電力を節約するために太陽光発電設備を設置する設計委託料である。

◆平成21年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

○以上8件は、原案のとおり可決



市道原谷197号線等の現地調査の様子

各常任委員会の動き

生活産業委員会

◆平成20年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管費目)

問 ふるさと館は若干入りにくい雰囲気があるが、現状はどうか。

答 7月1日にリニューアルオープンし、喫茶店や、そば屋等が入っている。オープン時にのれんがなかったが、すぐに用意してもらった。現在はのれんがかかっている。そばの旗を出すことや、時期によっては格子戸をはずして、外から中を見やすくすることも検討している。入りやすくなってきた。

※住基ネットについて、ICカードがないと住民票等の発行ができないという間違った意味にとれる内容のポスターを貼ったりするのは、行政のやり方として問題があると思う。定額給付金については、国の事業ではあるが、単なるばらまきでなく、もっと有効なお金の使い方があると思う。そういう予算の使い方に納得できないので認定できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆平成20年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◆平成20年度秩父市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について

○以上3件は、認定

秩父市バイシクルモトクロス場条例

◆安全管理はどうするのか。

問 安全第一を念頭に考えており、常時監視している人がいることと、運営するためには指導者がいることが必要だと思っている。第3セクター等、指導者が雇える方法を考えている。怪我人が発生した場合は、消防署及び大滝国保診療所と連携をとって対応していきたい。

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 影森公民館の建築予定内容は、鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は、公民館部分は約1,100㎡、学童保育室部分は約260㎡を予定。内装は出来る限り木を使用。300人くらい入れる大ホールも計画している。

◆平成21年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

○以上5件は、原案のとおり可決



バイシクルモトクロス場の現地調査の様子

文教福祉委員会

◆平成20年度秩父市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管費目)

問 過誤払返還金における今後の再発防止策は。

答 「学校予算の適正な施行について」の留意事項を定め、市内小中学校校長会議で周知徹底し、事故を未然に防いでいきたい。

※福祉関係(生活保護や保育士)等の理由で認定できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆平成20年度秩父市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

※一般会計からの繰入額が少ない等で認定できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆平成20年度秩父市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について

○認定

◆平成20年度秩父市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

※制度そのものに反対だから認定できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

◆平成20年度秩父市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

※制度に不備があるので認定できない、との意見が出された。

○挙手多数により認定

平成20年度秩父市立病院事業決算の認定について

◆秩父市国民健康保険条例の一部を改正する条例

◆秩父市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

問 循環器内科の開設予定と担当医師は。

答 10月から医師2人を常勤で確保し、備品等を整備しながら、11月から本格的な診療体制を予定している。

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第2回)所管費目

問 女性特有のがん検診とは。

答 国が全額補助する事業で、子宮がんと乳がんの検診で、決められた年齢の女性を対象となる。

◆平成21年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第1回)

◆平成21年度秩父市立病院事業会計補正予算(第2回)

○以上8件は、原案のとおり可決



循環器内科の診察室